

船穂中タイムズ

平成30年3月1日発行
校長室だより No. 22

オープンスクールを実施しました【船穂小・柳井原小6年生対象】



授業体験講座

2月19日(月)午後、船穂小学校と柳井原小学校の6年生の児童を対象としたオープンスクールを実施しました。はじめに、児童たちは、生徒会執行部の生徒からの中学校紹介を聞き、続いて2年生の生徒たちが講師を務める授業体験講座を受講しました。その後、それぞれの児童が希望する部活動の体験も行いました。短時間のオープンスクールではありましたが、どの児童も大変意欲的に活動することができました。その様子を見て、入学式が一層楽しみになりました。

また、同時進行で両小学校の保護者の方を対象にした入学説明会を開催し、本校の概要や中学校生活、入学の際の準備等について説明させていただきました。

児童の皆さん、保護者の皆様、ご参加いただきありがとうございました。



授業体験講座

部活動体験【吹奏楽部】

第2回学校評議員会を開催しました

2月23日(金)、本年度2回目となる学校評議員会を開催しました。学校評議員の皆様には、6校時目の授業を参観していただき、その後の会議で、学校運営及び行事等に対してのご意見等をいただきました。船穂中学校では、学校評議員の皆様からのご意見等を来年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。

学校評議員の方からいただいた主なご意見・質問等（なお、< >内は学校側からの説明。）

- 自己の学力への満足度は、自信が設定した目標を達成することで高まると思う。
- 学校教育アンケート結果において、いじめのない学級づくりについての肯定的な回答の割合が、生徒と保護者とで差が見られる。⇒<いじめは起こりうるという認識に立っている。いじめ問題対策委員会で検討し、その解消に努めている。傍観者とならないように生徒を育てたい。来年度、道徳教育を一層充実させたい。>
- 部活動の加入率が気になる。部活動をしないで遊んでいるということは心配だ。⇒<部員数減少のため、廃部する場合もあり得る。部紹介や体験入部などにより、部活動に入部しやすいよう工夫をしている。>
- 学習における自己肯定感を育むには、教師の声掛けも大切だ。生徒の発言に対して、例えば「いいことに気づいたね。」「君はこう考えたんだね。」と先生が認めることで、生徒の意欲をさらに引き出すことができると思う。⇒<生徒をしっかり認めていきたい。また、教師自身も学んでいるという姿を示していきたい。>
- 来年度から新教育課程における「主体的・対話的で深い学び」に基づいた教育にしていくという話があったが、自分の意見をはっきり言い、他の意見も聞くことで、生徒がお互いに学び合うのは大切だと思った。⇒<しっかり取り組んでいきたい。グローバルな人材の育成という面からも大切だと考えている。>
- 教育課程改訂による大きな変革のため、保護者に説明する必要があると思う。⇒<情報発信し、理解していただけるよう努める。>
- 1年に何回か球技大会等を実施してはどうか。⇒<生徒自らが手掛けることで主体性を育むことが期待できる。>
- SNSやツイッターでの書込みの内容が気になる。専門的な外部人材を招いて生徒や保護者へ啓発してはどうか。⇒<家庭と協力を図りながら、情報モラル教育に取り組んでいく。>